

第57号

2017年(平成29年)  
6月30日

発行  
長房地域住民協議会  
八王子市長房町506-2  
八王子市長房市民センター  
☎042(664)4774  
(公財)八王子市学園都市  
文化ふれあい財団



# ふれあい



長房西団地の早朝ラジオ体操

## 長房話題 あれこれ



上地流空手道(沖縄  
伝統武道)



講演が好評だった  
塚本回子さん



菜園リハビリでガンを克服した渡辺さん



ちびっ子よらい武者誕生!



八王子の天狗キャラ「はっちお〜じ」も登場

## 「ふれあい端午まつり」を振り返って

長房地域住民協議会

会長 松葉浩充

今年も多くの方々のご協力により今までにないほど盛大に開催できました。

四月十六日のこいのぼり掲揚後、保育園、幼稚園、老人ホームなどの方々が連日見に來られました。今年は桜の開花が遅かったため、こいのぼりとの珍しいコラボレーションが初めて見られました。

安全性を考慮して橋の上の竹ざおのぼりを今年に取りやめました。まつり当日は4日、5日も天候に恵まれ多くの来場者がありました。

市制100周年事業とのタイアップで花ポットの無料配布や、市のホームページのトップにまつりの写真掲載もありました。

塚本回子氏の講演「お帰りのさい! Dr. 肥沼さん」には200名の方が聴き入りました。富士森高校ダンス部や横山中学校吹奏楽部の公演では、観客も元気をもらって会場内に笑顔が絶えませんでした。

子どもさん達に楽しんでもらうイベント、ふわふわ水族館、よらい姿で記念写真、フラワーアレンジメント、折り紙教室、消防車に乗って写真撮影、なども大盛況でした。模擬店もいつもの活発さにぎわい、完売の続出でした。

このようなイベントが継続して行えるのは住民協メンバー、各町会・自治会からの協力者、交通安全協会の皆さん、富士森高校ボランティア部の生徒さん、センター職員などの理解と協力があっての賜物です。今年のはべ850名の方にお手伝いいただきました。

今後とも継続して行くには規模ややり方の工夫、若手への参加呼びかけなどが必要だと思います。なにはともあれ無事に終わってよかったです。有難う。そしてお疲れさまでした。



長房 周辺 散策記 23

# 長房の千人同心

長房町会 伊藤 完

ペリーが黒船で浦賀に来た頃の「番組合之縮図」(嘉永7年1854)に、船田村10人、下長房村には3人の千人同心が居たと書かれています。

千人同心とは徳川家康が甲斐国を治めるときに三河武士武田の残党を家来にして、甲斐の出入り口を警護させたのが始まりです。江戸に移ってから(天正19年1591)代官の大久保長安に命じて八王子をはじめ近在に移住、整備させて500人になりました。

その後関ヶ原の合戦で「千人同心」と名のり1000人になります。幕末(慶応2年1866)には「千人隊」と改称します。

千人頭一〇家は旗本の身分



慈眼寺地藏堂の鐘楼

その後、榎本家はハケ上に屋敷を拡げ、遠山家は分家の矢島家に譲りこの地を去ります。

で(慶長5年1600の時に)荻原(下)、窪田(上)、窪田別家、窪田(下)、志村、原、中村、河野、山本、石坂、各組になります。活躍は「大阪夏の陣」「日光火の番」「江戸火消し」「蝦夷地の開拓」「駒木野閑所警備」「神奈川・横浜警備」等があります。今回の散策は下長房村三軒在家から千人頭河野家、中村家の菩提寺興福寺まで散策しましょう。

## 半農半士の千人同心

市民センターの西側から中通りに出ます。この付近から西方が三軒在家千人同心の郷です。半農半士なので開墾のため長房丘陵ハケの下、南浅川沿いを幕府から与えられた

## 町会・自治会のサロン活動紹介② 船田町会サロン「ひだまり」



当サロンは、民生委員とボランティアの会から出発し、「もっと近くで交流の場があればいいね」という声が多かったところから町会の船田会館をベースに「船田ひだまり会」として発足しました。現在はボランティア13人が中心となり、毎月第2金曜日と第4木曜日に、季節に合わせた作品作りや、高齢者向けの講習会、歌や折り紙、軽い体操、外部ボランティアさんを招いてのマジックや、オカリナ、ギターの演奏などを楽しんでいます。



特に11月には力作の揃う作品展、12月にはクリスマス協会が年間行事として定着しています。第4木曜日には、一人暮らしの会員の方にボランティア手作りの昼食を作っています。

ちなみに今年の4月は地元の節を使ったタケノコご飯にわらびなどを添えて、季節のなつかしい献立で喜んで頂きました。

特に皆さんが盛り上がるのはお手玉回しや、ゲーム、若かった頃の懐かしい歌などで、笑顔がいっぱい。これからもみんなで楽しく頑張りたいと思います。

船田ひだまり会会長

片岡 有

岸家には分家の佐伯家があり千人同心でしたので4人のときもありました。榎本、岸、矢島は荻原(上)組、佐伯は山本組に属していたようです。

### 「慈眼寺」

ハケ上に曹洞宗福寿山慈眼寺があります。縁起は高乗寺から初沢に(弘治1年1555)創草、船田の船田小学校の南側に移転して元禄年間(1660)に現地移り、三家の菩提寺となり、本堂の裏手が墓地です。境内には「長房地蔵」と呼ばれる地蔵堂、鐘楼の梵鐘は(昭和3年1928)に铸造されたものです。山門の西横に細

い道があり、角に再建された道標があります。この道も土道で、「右 慈眼寺 左 廿里」と記されています。

中通りから御陵の参道を南に曲り南浅川橋のふもとに「サイカチの木」があります。北条氏照が南浅川岸の防衛のためにすどい棘を持つサイカチを植え

## 第2回「長房ふれあいウォーク」

2回目になりますが「長房周辺散策記」読者の方をお誘いして、歩きながら今までの記事内容をご案内します。

- 予定日時 9月9日(土)、10時~12時  
雨天延期(センター内掲示)
- コース、市民センターに集合して、横山橋から旧陸軍幼年学校跡地、船田石器遺跡、船田会館まで行き、共立女子高・中学校内で月夜峰の碑を見学します。
- 参加自由、無料、予約不要、(センターに10時までにお集まりの方をメンバーとします)
- 歩きやすい服装、履物、飲み物をご用意下さい。案内の地図・資料を用意して説明します。
- 長房住民協議会活動の一つとして、ご案内は「ふれあい」編集委員の伊藤完(Tel.664-2062)が担当します。

私の趣味

病後のリハビリに  
始めた野菜作り

船田町会 渡辺四郎さん



自宅から車で25分ほど、町田街道を南に下った神奈川県境沿いの林の中に、渡辺さんの菜園はあります。よく手入れされた80坪弱の土地にタマネギ、ジャガイモ、大根、ソラマメ、ナス、ピーマンなど20種類ほどの作物が育っています。

「19年ほど前、ある日突然咽喉の奥が痛くなりタバコが吸えなくなりました。そのうち首のあたりにしこりができ、それがピンポン玉くらいに大きく腫れあがりました。医者診断は中咽喉ガンの末期、第4ステージと言うことでした」

慶応病院に入院した渡辺さんは抗ガン剤と放射線治療を受け、首のしこりを切除手術し、4か月後に退院しました。

「入院中食事は一切取れないので、点滴のみ、体重は35,6キロまで落ち、体力もなく風が吹けば飛ばされそうな感じでした」

職場復帰も断念し、療養生活を続けてるときに、近所に住んでいる友人から「空いている土地があるから野菜でも作ってみたら」と勧められました。

「最初の1年目は大変でした。荒地を、鍬一本で開拓する毎日は自分との戦いでした」

しかしそんな生活を何年か続けているうちに次第に体力を取り戻してきたそうです。

「末期ガンを宣告されたとき、正直もうダメかとも思いましたが、いい友達がいる、その助言で救われました」という渡辺さん、69歳になった今年、地元うぐいす台の自治会長を引き受けました。今は真っ黒に日焼けして健康そうです。

船田町会 平田哲男



興福寺山門「横木の門」

たとの事、しかし殆ど枯れて、残るのはこの木1本となってしまうたそうです。  
【興福寺】  
参道を南に進むと陵南会館で、ここは旧皇室専用駅でした。  
横のJR中央線に架かる跨線橋を渡り陵南中学校の東側を南に向かいます。その突き当たりに興福寺があります。曹洞宗聚林山千光院興福寺で開基は雨宮氏、山門が有名で設

樂家の屋敷門を移築した「横木の門」と称されています。墓域には関東十八代官設樂家歴代の法印塔が並び、千人頭河野家、中村家と千人同心の墓碑があります。  
千人町には遺跡がたくさんありますが、江戸時代の下長房を思い起こし散策して下さい。  
追記、戊辰戦争後の約半数の千人隊は悲惨でした。徳川家達の駿府移封に従い、浜北市の荒野に入植させられ、飢えのために亡くなった隊士が多くいました。船田から静岡に行った吉野彦次郎もその一人、墓が浜松市浜北区吉祥院正寿院にあるそうです。

早朝・ラジオ体操

長房西団地・寿会

朝7時、郵便局前の広場に三々五々集まってくる30数人が「おはようございます」と

「早寝、早起きの生活習慣になつた」「寝たきりになりにくい」などの声が聞こえてきた。一生懸命さが伝わって来る早朝体操でした。  
「夏休み・子どもとラジオ体操」(長房西団地アパートと

共催)がスタートします。  
◎7月24日(月)〜8月25日(金) 土、日、祝、雨天は休み  
◎参加賞あり! 子どものみ

長房西団地連合自治会

小岩 博

センター利用グループの紹介・4  
上地流空手道(沖縄伝統武道)



部屋に入ると沢山の子どもさんが代表の横関弘宣先生(七段)から一人ひとり昇級証書を受けていました。「先代が10年、自分が25年、代表として青少年の健全な育成を願って続けています」とのことです。

稽古場では「こんばんは」と大きな声で一礼を受けました。毎月3回、土曜日5時30分から5歳児~中学生までとその後大人の稽古になります。現在会員は40名。まだ少し余裕がありますので入会下さいとのこと。

(館長 松葉)

## 園児の鯉のぼりシリーズ 第5回 長房中央保育園



毎年こいのぼりの季節が近づくと長房中央保育園では、3、4、5歳児クラスの子の子どもたち一人一匹ずつ、マイこいのぼりを作ります。

大空を泳ぐこいのぼりに思いをはせながら、色を塗ったり模様を描いて個性豊かな作品に仕上がっていきます。たくさんのこいのぼりが泳ぐふれあい端午まつりは圧巻です。その中をマイこいのぼりが泳ぐ姿を毎年楽しみにしています。

(園長 杉本浩恵)



じよいそーらん四季舞の群舞



横山中学校吹奏楽部の演奏



700鉢の花ポット苗を無料配布



人気のフラワーアレンジメント

### 端午まつり あれこれ

○昨年、戸井田さんのアイデアで始めた小鯉のぼりの陵東橋付近での「川渡し」は好評、今年は横山橋付近にもつけました。

○竹さおの購入先を変更、太くて立派な物ですが重くて運搬、取り付け、取り外しが大変。でもお蔭で吹き流しが映えました。

○園児のぼり144匹は昨年と同様に破損、紛失なし。取り付け部をテープ止めにしました。

○ふわふわ水族館は今年も900名の子どもが元気に楽しみました。

○富士森高校ボランティア部の皆さんのゴミ集積所での、明るく真面目な取り組みには感謝でした。

○全国都市緑化はちおうじフェアの協力で700鉢の花ポットを配布、長い列ができました。

○市制100年と緑化フェアの幟旗は、会場近くを中心に取り付け、PRしました。

○作品展長房書道・絵画教室の作品をみて入会希望者がそれぞれありました。

#### 端午まつりの裏方さん紹介(第2回)

\*「長房どんと焼の会」戸井田初男さん、大城宗夫さん、永井光男さんなどを中心にして竹さおのぼりの掲揚の大半をやっています。

\*あのおいしいカレーライスは古川りう子さん以下12名の協力のお蔭です。感謝!

\*ふわふわ水族館の当日取り仕切は平成22年に始めて以来ずっと白田知子さん、三井仲江さんが担当しています。もちろん新地町会の皆さんの協力があってのことです。

\*忘れてならないのは交通安全協会の指導員の皆さんの期間を通しての交通整理があつてこそ、無事故でやれています。ありがとうございます。